

RPSJ NETWORK

Railway Preservation Society of Japan

日本鉄道保存協会 2005 総会



“Hokkaido Railway Company” IN 2005

はじめに

日本鉄道保存協会が設立されて、今年で15年を迎えます。

この間、多くの皆さまのご支援・ご協力のもと微力ではございますが、活動をつづけてまいりました。現在、加盟団体は26を数え、より一層の広がりをみせております。

最近では、歴史的車両の動態保存や静態保存が全国各地で推進され、広く一般の皆さんの関心を集めつつあります。また、歴史的車両のみならず、駅舎・橋梁・隧道などの鉄道遺産を地域活性化の核として保存・活用している事例も多く見られるようになってきました。

これら我が国が誇る歴史的鉄道遺産を近代化遺産と位置づけ、私たちの大切な宝物として後世に伝え残していきましょう。

日本鉄道保存協会 平成17年度総会次第

〔日 時〕平成17年10月7日（金） 15時15分～18時30分

〔開催地〕北海道旅客鉄道株式会社 苗穂工場、他

1. あいさつ

開催地団体	北海道旅客鉄道株式会社運輸部	部 長	横井 洋裕
代表幹事団体	財団法人日本ナショナルトラスト	事務局長	米山 淳一
顧問	英文学者		小池 滋

2. 出席者の紹介（加盟団体は簡単な近況報告も含めて）

3. 議 事

①新加盟の承認について

〔賛助会員〕

株式会社 J T B パブリッシング

〔平成17年4月8日〕

②平成16年度事業報告

a. 総会の開催〔平成16年9月10日 九州旅客鉄道株「門司港駅舎」〕

b. 歴史的鉄道車両の保存活用についてのコンサルティング

c. 会報の発行

資料1

d. マスコミなどを通じての広報活動

e. 会員及び賛助会員の拡充

f. その他

④平成16年度収支報告について

資料2

⑤平成16年度会計監査報告について

資料3

⑥平成17年度事業計画（案）

a. 総会の開催〔平成17年10月7日 北海道旅客鉄道株・苗穂工場、他〕

b. 歴史的鉄道車両の保存活用についてのコンサルティング

c. 会報の発行

d. マスコミなどを通じての広報活動

e. 会員及び賛助会員の拡充

f. その他

⑦平成17年度収支予算（案）について

資料4

⑧次回開催地について

⑨その他

4. 意見交換会

基調講演	「これからの鉄道保存」 財団法人交通文化振興財団	理事長 菅 建彦
取り組み発表	北海道旅客鉄道(株)運輸部運用車両課	課員 岡島 公紀
問題提起	「鉄道を保存するということ」 産業考古学会	理事 堤 一郎
パネルディスカッション	「鉄道保存の将来を考える」	
パネリスト	遠軽町（旧丸瀬布町） 三笠市 北海道旅客鉄道(株) ほべつ銀河鉄道の里づくり委員会 小樽交通記念館	
コーディネーター	(財)日本ナショナルトラスト	事務局長 米山 淳一
コメンテーター	産業考古学会	理事 堤 一郎
総括	日本鉄道鉄道保存協会	顧問 小池 滋

[平成17年度総会出席者]

●顧問(1名)

英文学者

小池 滋

●加盟団体(19名)

遠軽町

丸瀬布総合支所産業課長

高橋 秀視

遠軽町

丸瀬布総合支所産業課商工観光係長

小山 信芳

三笠市

商工観光課長

杉渕 則幸

北海道旅客鉄道株式会社

鉄道事業本部運輸部長

横井 洋裕

北海道旅客鉄道株式会社

運輸部運用車両課グループリーダー

黒田 宣元

北海道旅客鉄道株式会社

運輸部運用車両課主席

有倉 孝俊

北海道旅客鉄道株式会社

運輸部運用車両課課員

岡島 公紀

ほべつ銀河鉄道の里づくり委員会

会員

高橋 健一

小樽交通記念館[株式会社小樽交通記念館]

学芸員

佐藤 卓司

磐越西線SL運行推進協議会

(欠席)

ウェスタン村[大高企業株式会社]

(欠席)

真岡線SL運行協議会

(欠席)

日本工業大学

学芸員・講師

丹治 明

西武鉄道株式会社

(欠席)

財団法人東日本鉄道文化財団

事業部長

石川 晃

財団法人東日本鉄道文化財団

鉄道博物館プロジェクト部主任

五十嵐 憲一

財団法人東武鉄道共助会[東武博物館]

(欠席)

財団法人交通文化振興財団[交通博物館]

理事長

菅 建彦

財団法人日本ナショナルトラスト

事務局長

米山 淳一

財団法人日本ナショナルトラスト

松本 恵子

上松町

(欠席)

虹の郷[財団法人伊豆市振興公社]

(欠席)

大井川鐵道株式会社

運輸担当係長

石川 寛之

東海旅客鐵道株式会社

車両部管理課長代理

大井 孝弘

博物館 明治村[財団法人明治村]

(欠席)

西日本旅客鐵道株式会社

(欠席)

加悦SL広場[カヤ興産株式会社]

管理部

柴田 万喜也

ふるさと鐵道保存協会

(欠席)

馬路村 [やなせ森林鐵道運営委員会]

(欠席)

山口線SL運行対策協議会

(欠席)

九州旅客鐵道株式会社

総務部広報課主席

城戸 洋平

屋久町

(欠席)

●賛助会員(8名)

株式会社ネコ・パブリッシング

Rail Magazine編集長

名取 紀之

株式会社鐵道ジャーナル社

代表取締役

竹島 紀元

株式会社JTBパブリッシング

企画編集部編集長

大野 雅弘

株式会社JTBパブリッシング

宿泊情報編集部編集長

河合 桃子

有限会社鐵道フォーラム

代表取締役

伊藤 博康

有限会社鐵道フォーラム

スタッフ

堀内 聡

有限会社鐵道フォーラム

スタッフ

佐藤 正樹

有限会社鐵道フォーラム

スタッフ

菊池 義和

●オブザーバー(21名)

西武鐵道株式会社

レジャー事業部長

西尾 恵介

西武鐵道株式会社

工務部建設事務所主任

内田 正樹

加悦町観光協会

事務局長

篠崎 隆

産業考古学会
北海道産業考古学会
大阪産業大学
四国旅客鉄道株式会社
西条市役所企画経済部
碓氷峠鉄道文化むら
碓氷峠鉄道文化むら
D51保存会
株式会社ヤマジ
三菱大夕張鉄道保存会
釧路臨港鉄道の会
NHK室蘭放送局放送部
財団法人日本ナショナルトラスト
財団法人日本ナショナルトラスト
財団法人日本ナショナルトラスト
財団法人日本ナショナルトラスト
財団法人日本ナショナルトラスト
財団法人日本ナショナルトラスト

理事
会長
講師
営業部営業企画課長
次長
常務理事(館長)
指導機関士
代表
代表取締役
会員
会員
報道カメラマン
会員・トラベルライター
会員
会員
会員
会員
会員

堤 一郎
山田 大隆
上川 庄二郎
加藤 圭哉
藤本 純一
櫻井 正一
土屋 幸正
大日方 孝仁
山田 建典
奥山 道紀
星 匠
黒田 雅仁
白川 淳
山崎 幸一
織田 秀次
織田 佳子
長野 光芳
阪本 伸彦

日本鉄道保存協会規約

(名称)

第1条 この会の名称は日本鉄道保存協会（以下「協会」という）とする。

(目的)

第2条 協会は、歴史的鉄道車両を動態及び静態保存している団体が集い、相互に情報を交換し、将来にわたる保存・活用を推進することを目的とする。

(会員)

第3条 協会は、正会員たる加盟団体および賛助会員をもって構成する。

(会議)

第4条

1. 協会の会議は総会および幹事会とする。
2. 総会は年1回開催するものとし、必要のつど臨時に開催することができる。

(役員団体)

第5条

1. 協会に代表幹事団体1団体、幹事団体2団体、会計監事団体2団体を置く。
2. 代表幹事団体、幹事団体、会計監事団体は、加盟団体の互選により選出する。
3. 代表幹事団体は、協会を代表し会務を総理する。
幹事団体は、総会その他会務の執行に関する重要事項を協議する。会計監事団体は、協会の会計を監査する。
4. 役員団体の任期は2年とし、重任を妨げない。

(顧問)

第6条 協会に顧問を置く。顧問は、総会において代表幹事団体が推薦し、任期は2年とし、重任を妨げない。

(事務局)

第7条 協会の事務局は、代表幹事団体に置く。

(会費)

第8条

1. 協会の経費は、正会員、賛助会員が拠出する会費、および寄付金により賄う。
2. 年会費の額は、正会員 12,000 円、賛助会員 12,000 円（1口）とする。

3. 会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。

(規約の改正)

第9条 この規約の改正は、総会の議決によらなければならない。

付 則 この規約は、平成3年4月1日から施行する。

総会の運営方法

原則として加盟団体の輪番制とし、開催に際しては、代表幹事団体及び幹事団体ならびに開催場所の団体が協同して行う。

平成3年4月1日施行

平成6年8月10日改正

平成16年9月10日改正

1	遠軽町 (旧丸瀬布町) 〒 099-0203 北海道紋別郡遠軽町丸瀬布中町115-2 遠軽町役場丸瀬布総合支所 ◎ 産業課観光係 係長	町長 枝松 泰彦 Tel 01584-7-2211 Fax 01584-7-2128 小山 信芳
2	三笠市 〒 068-2192 北海道三笠市幸町 2 三笠市役所 ◎ 経済建設部商工観光課 商工観光係 主事	市長 小林 和男 Tel 01267-2-3997 Fax 01267-2-7880 新居 忠浩
3	北海道旅客鉄道株式会社 〒 060-8644 北海道札幌市中央区北11条西15 ◎ 鉄道事業本部運輸部 運用車両課グループリーダー	代表取締役社長 小池 明夫 Tel 011-700-5785 Fax 011-700-5786 黒田 宜元
4	ほべつ銀河鉄道の里づくり委員会 〒 054-0364 北海道勇払郡穂別町富内 ◎ 事務局長	会長 加藤 勉 Tel 01454-6-6217 Fax 01454-6-6217 服部 啓三
5	小樽交通記念館[株式会社小樽交通記念館] 〒 047-0041 北海道小樽市手宮1-3-6 ◎ 展示担当	代表取締役 中松 義治 Tel 0134-33-2523 Fax 0134-33-2678 佐藤 卓司
6	磐越西線SL運行推進協議会 〒 965-0816 福島県会津若松市南千石町6-5 ◎ 総合事務センター センター長	会長 小野 隆市 Tel 0242-27-1212 Fax 0242-27-1207 一ノ瀬 善弘
7	ウェスタン村[大高企業株式会社] 〒 321-2421 栃木県今市市栗原315-1 ◎ 芸能部企画事業室	代表取締役社長 大南 兼一 Tel 0288-21-8731 Fax 0288-21-7093 森本 浩
8	真岡線SL運行協議会 〒 321-4305 栃木県真岡市荒町5203 芳賀地区広域行政事務組合 ◎ 総務課ふるさと振興係	会長 福田 武隼 Tel 0285-82-9151 Fax 0285-82-9152 永嶋 良智
9	日本工業大学 〒 345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1 ◎ 工業技術博物館	学長 柳澤 章 Tel 0480-34-4111 Fax 0480-33-7570 館長 松野 建一

10 西武鉄道株式会社 〒 359-8520 埼玉県所沢市くすのき台1-11-1 ◎ 車両部 部長付き	代表取締役社長 後藤 高志 Tel 04-2926-2285 Fax 04-2926-2239 平岡 清次
11 財団法人東日本鉄道文化財団 〒 151-8578 東京都渋谷区代々木2-2-2 JR東日本本社ビル11階 ◎ 企画部 課長	理事長 住田 正二 Tel 03-5334-0623 Fax 03-5334-0624 高橋 政弘
12 東武博物館[財団法人東武鉄道共助会] 〒 131-0032 東京都墨田区東向島4丁目28番16号 ◎ 事務局	館長 花上 嘉成 Tel 03-3614-8811 Fax 03-3614-8814 田口 隆
13 交通博物館[財団法人交通文化振興財団] 〒 101-0041 東京都千代田区神田須田町1-25 ◎ 総務課 課長	理事長 菅 建彦 Tel 03-3251-8481 Fax 03-3251-8489 浅野 善一
14 財団法人日本ナショナルトラスト 〒 100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1新国際ビル923 ◎ 事務局長	会長 杉浦 喬也 Tel 03-3214-2631 Fax 03-3214-2633 米山 淳一
15 上松町 〒 399-5603 長野県木曾郡上松町駅前通り2-13 上松町役場 ◎ 産業観光課商工観光係 係長	町長 田上 正男 Tel 0264-52-2001 Fax 0264-52-1038 横井 実
16 虹の郷[財団法人伊豆市振興公社] 〒 410-2416 静岡県伊豆市修善寺4279-3 ◎ 園内交通課	理事長 西島 萬徳 Tel 0558-72-7222 Fax 0558-72-7133 西島 史年
17 大井川鐵道株式会社 〒 428-8503 静岡県島田市金谷町金谷1112-2 ◎ 運輸担当係 係長	代表取締役社長 榊原 昌夫 Tel 0547-45-4113 Fax 0547-45-4115 石川 寛之
18 東海旅客鐵道株式会社 〒 453-8520 愛知県名古屋市中村区名駅1-3-4 車両部長 小松 宣之 ◎ 車両部管理課 課長代理	代表取締役社長 松本 正之 Tel 052-564-2461 Fax 052-564-2462 大井 孝弘

19	博物館明治村[財団法人明治村] 〒 484-0000 愛知県犬山市字内山1番地	館長 飯田 喜四郎 Tel 0568-67-0314 Fax 0568-67-0358 ◎ 総務 鈴木 智久
20	西日本旅客鉄道株式会社 〒 530-8341 大阪府大阪市北区芝田2-4-24	代表取締役社長 垣内 剛 Tel 06-6375-8513 Fax 06-6376-6053 ◎ 広報室 企画チーフ 城市 孝志
21	加悦S L広場[カヤ興産株式会社] 〒 629-2422 京都府与謝郡加悦町滝941-2	代表取締役 須藤 洋右 Tel 0772-42-3186 Fax 0772-43-0080 ◎ 管理部 部長 吉村 勉
22	ふるさと鉄道保存協会 〒 606-0944 京都府京都市左京区松ヶ崎御所ノ内町26	理事長 笹田 昌宏 Tel 090-9692-2689 Fax 075-791-8005 ◎ 理事長 笹田 昌宏
23	馬路村 〒 781-6202 高知県安芸郡馬路村魚梁瀬 馬路村役場魚梁瀬支所	村長 上治 堂司 Tel 08874-3-2211 Fax 08874-3-2208 ◎ やなせ森林鉄道運営委員会 魚梁瀬支所長 清岡 宏敏
24	山口線S L運行対策協議会 〒 753-8501 山口県山口市滝町1-1	会長 和田 卓也 Tel 083-933-3170 Fax 083-933-3179 ◎ 商工労働部観光交流課 観光物産振興班 主事 藤井 厚
25	九州旅客鉄道株式会社 〒 812-8566 福岡県福岡市博多区博多駅前3-25-21	代表取締役社長 石原 進 Tel 092-474-2541 Fax 092-474-3898 ◎ 総務部広報課 課長 江越 善一郎
26	屋久町 〒 891-4404 鹿児島県熊毛郡屋久町尾之間157 屋久町役場	町長 日高 十七郎 Tel 0997-47-2111 Fax 0997-47-2117 ◎ 企画調整課 地域活性化対策係 係長 泊 竜二

日本鉄道保存協会賛助会員名簿

◎は担当者

①	株式会社ネコ・パブリッシング (Rail Magazine編集長 名取 紀之)		
〒 152-8545	東京都目黒区碑文谷4-21-13	Tel 03-5723-6009	
	Rail Magazine編集長 名取 紀之	Fax 03-5723-6015	
②	株式会社鉄道ジャーナル社 (代表取締役 竹島 紀元)		
〒 102-0072	東京都千代田区飯田橋4-8-6 日産ビル3F	Tel 03-3264-1891	
	代表取締役 竹島 紀元	Fax 03-3265-3597	
③	日本鉄道写真作家協会 (会長 結解 学)		
〒 102-0072	東京都千代田区飯田橋3-4-3エレガンス飯田橋504 レイルマンフォトオフィス内	Tel 03-3221-0271	
	事務局長 中井 精也	Fax 03-3221-0272	
④	北陸重機工業株式会社 (代表取締役 霜鳥 雅徳)		
〒 950-0871	新潟県新潟市山木戸7-3-69	Tel 025-274-3311	
	営業部課長 岩橋 正人	Fax 025-271-4812	
⑤	株式会社JTBパブリッシング (代表取締役社長 江頭 誠)		
〒 162-844	東京都新宿区払方町25-5	Tel 03-6888-7845	
	企画出版部編集長 大野 雅弘	Fax 03-6888-7876	
⑥	けいてつ協会 (代表 岡本 憲之)		
〒 171-0031	東京都豊島区目白5-17-9	Tel 03-5996-0234	
	代表 岡本 憲之	Fax	
⑦	有限会社鉄道フォーラム (代表取締役 伊藤 博康)		
〒 484-0085	愛知県犬山市西古券57	Tel 0568-62-9603	
	代表取締役 伊藤 博康	Fax 0568-61-6310	
⑧	種村 直樹 (レイルウェイ・ライター)		
〒 121-0813	東京都足立区竹の塚3-11-9-108	Tel 03-3850-3300	
	レイルウェイ・ライター 種村 直樹	Fax 03-3860-0380	
⑨	岡田 久雄 (赤門鉄道クラブ会員)		
〒 191-0041	東京都日野市南平1-27-21	Tel 042-591-1636	
	元・朝日新聞社 岡田 久雄	Fax	

日本鉄道保存協会賛助会員名簿

◎は担当者

⑩ 水野 弥彦 (旅行ジャーナリスト)

〒 329-1577 栃木県矢板市玉田415-68 コリーナ矢板E1214

Tel 0287-48-3010

Fax 0287-48-3010

元・交通新聞編集局長

水野 弥彦

<p>団 体 名</p>	<p>遠軽町役場 町長</p>	<p>連絡先 (住所・電話等) 〒 099-0203 北海道紋別郡遠軽町丸瀬布中町 遠軽町役場 丸瀬布総合支所産業課観光係 TEL 01584-7-2211 FAX 01584-7-2128</p>
--------------	---------------------	---

<近況報告>

●北海道遺産に認定

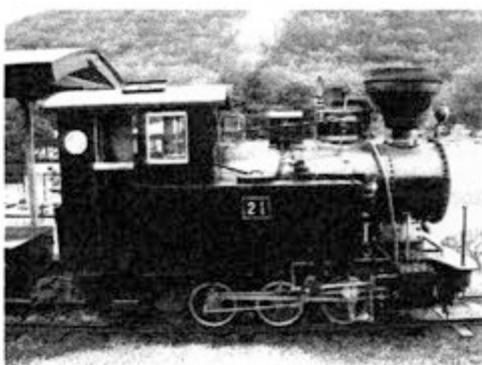
道が選定する次世代に引き継ぎたい北海道ならではの宝物「北海道遺産」。

豊かな自然、人々の歴史や文化、生活などの中からすでに 25 件の北海道遺産が選定されており、昨年 10 月に新たに 27 件が選定されました。

昨年の募集期間に寄せられた候補(応募総数 9,107 通、候補件数 1,311 件の中から、第 1 次候補 352 件に絞り込まれ、丸瀬布町の森林鉄道 SL 雨宮 21 号がその中に選ばれました。

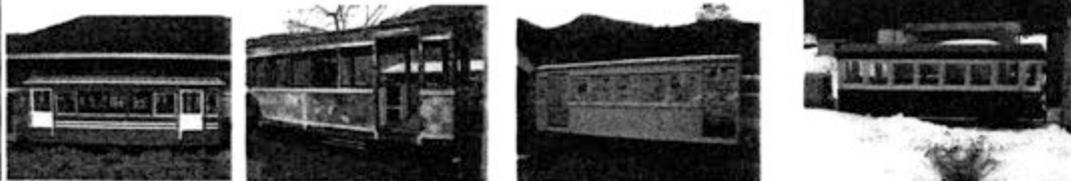
その絞り込まれた第 1 次候補 352 件について基礎調査や道民意見募集がなされた結果を踏まえて第 2 次候補として 72 件が選定され、森林鉄道雨宮 21 号も選ばれました。

平成 16 年 10 月 22 日北海道遺産構想推進協議会が開催され、新たな北海道遺産が 27 件承認され、森林鉄道蒸気機関車「雨宮 21 号」も北海道遺産に選定されました。



●木曾森林鉄道客車塗り替え

町の業者と共に木曾森林鉄道客車を網走管内で走っていた時の色に塗り替えました。昨年 10 月から作業に取りかかり、今年の 4 月のオープンにお披露目しました。



●雨宮号運転日

4 月下旬～10 月下旬

土・日・祝日運行(ゴールデンウィーク・夏休み期間は毎日運行)

※詳細については問い合わせ下さい。

[運転時刻] 10 時から 16 時 30 分まで

[乗車料金] 大人 500 円 小人(4 歳以上) 250 円

[運転区間] 「森林公園いこいの森」園内 8 の字 W リバース線 2000m

団体名	三笠市 (市長 小林 和男)	〒068-2192 北海道三笠市幸町2番地 三笠市役所経済建設部商工観光課商工観光係 電話番号 01267-2-3997 F A X 01267-2-7880 Eメール kankou@city.mikasa.hokkaido.jp ホームページ http://www.city.mikasa.hokkaido.jp
-----	-------------------	--

SL304号

◆2005『SL304号』運行計画



◆運行時間

日曜日、祝祭日、夏休み

(月・土曜日を除く) ……10～16時

土曜日……………12～16時

月	時間	日
4月	10～16時	29
	12～16時	30
5月	10～16時	1、3、4、5、8、15、22、29
	12～16時	7、13、20、27
6月	10～16時	5、12、19、26
	12～16時	4、11、18、25
7月	10～16時	3、10、17、18、24、26、27、28、29、30
	12～16時	2、9、16、23、30
8月	10～16時	2、3、4、5、7、9、10、11、12、14、15、16、17、18、19、21、28
	12～16時	6、13、20、27
9月	10～16時	4、11、18、19、23、25
	12～16時	3、10、17、24
10月	10～16時	2、9、10
	12～16時	1、8

三笠鉄道記念館

◆北海道の鉄道開拓時代の貴重な資料を展示

館内には北海道鉄道開拓時代から旧国鉄時代に活用されていた貴重な関連品を展示しております。

◆幌内鉄道の歴史を鑑賞できるミニシアター

幌内で発見された良質の石炭を運搬することを目的とした産業用鉄道として、北海道で最初に開通した幌内線。幌内線は昭和62年7月12日に廃線となりましたが、北海道鉄道開拓の先駆である



幌内線の歴史を映像で紹介する「さらば栄光の幌内線 (17分)」・「幌内線のあゆみ (24分)」・「幌内線最後の日 (8分)」・「在りし日の幌内線 (7分)」を鑑賞することができます。



◆HOゲージの鉄道模型体験シミュレーション

鉄道模型の視点をモニターで見ることで、大パノラマの中、電車を実際に運転しているような体験ができます。



団体名	北海道旅客鉄道株式会社	鉄道事業本部 運輸部 運用車両課 〒060-8644 北海道札幌市中央区北 11 条西 15 丁目 TEL 011-700-5785 FAX 011-700-5786
------------	--------------------	---

四季折々を通じての多彩な SL 列車を運行

弊社では平成11年よりC11形蒸気機関車2両(C11-171, C11-207)を復元し、四季折々の北海道の自然や文化・歴史を堪能して頂ける各種観光列車、及びイベント列車として運行しております。

平成17年度は C11-207 号機の全般検査及び C11-171 号機への中間検査を実施する予定です。双方ともに車両新製以来の車齢が高くなっており、復元からも年数が経過していることから、各部・各機器わたって細心の注意を払い、検査・修繕を行っております。また、SL の運転に際しては、運転からメンテナンスに至るまで、多くの SL 特有の技術が必要であり、これらの技術の継承についても取り組んでおります。

平成 17 年度 SL 列車運転計画

SL 函館大沼号 函館本線（函館～森）

4/29～5/8, 7/16～18, 23, 24, 30, 31

8/6, 7, 13, 14, 20, 21

SL すずらん 留萌本線（深川～増毛）

5/28, 29, 6/25, 26, 8/27, 28, 9/10, 11

SL 富良野・美瑛ノロッコ号

富良野線（旭川～富良野）

6/4,5, 9/17～19



釧網本線を駆ける SL 冬の湿原号



苗穂工場での車入れ作業

SL ニセコ号 函館本線（札幌～蘭越）

9/23～25, 10/1, 10/8～10,

10/15, 16, 23, 29, 30, 11/3, 5, 6

SL クリスマス in 小樽号（札幌～小樽）

12/9～11, 16～18, 22～25

SL 冬の湿原号 釧網本線（釧路～標茶）

1/14, 15, 21, 22, 28～3/21

※ 運転日は変更となる場合があります

団体名	ほべつ銀河鉄道の 里づくり委員会	〒0 北海道勇払郡穂別町字富内 高橋方 ☎
-----	---------------------	-----------------------------

〔委員会の主な活動〕

旧駅舎・客車2両・鉄路延長1キロメートル・宮沢賢治が設計した「涙ぐむ眼」花壇・公園10,000㎡などの保存、維持管理が主な活動となっている。



「涙ぐむ眼」

① 町おこしの経緯

昭和61年の廃線によって地域の過疎化が一層深刻になった。歴史を思わせる駅舎・線路・構内をなんとか保存することにより町おこしができないか、地域の数人が組織（富内再開発協議会）を立ち上げた。幸いにして横山村長が宮沢賢治の思想に感銘し、理想郷づくりに生命をかけて取り組んでいた。富内地域には、賢治観音像や鉄道もあり、条件が整っていたことから、銀河鉄道の里づくりと称して町おこしの活動がはじまった。

昭和61年の廃線によって地域の過疎化が一層深刻になった。歴史を思わせる駅舎・線路・構内をなんとか保存することにより町おこしができないか、地域の数人が組織（富内再開発協議会）を立ち上げた。幸いにして横山村長が宮沢賢治の思想に感銘し、理想郷づくりに生命をかけて取り組んでいた。富内地域には、賢治観音像や鉄道もあり、条件が整っていたことから、銀河鉄道の里づくりと称して町おこしの活動がはじまった。

② 今までの活動経過・その他

- ・ 宮沢賢治設計の涙ぐむ眼花壇の造成によって地域住民参加（地域・学校・精薄授産施設・老人クラブ）による活動が始まる。年2回植栽120名参加
- ・ 会員が中心となって駅舎周辺の維持管理（線路の草刈り、駅舎の掃除、客車の清掃など）をおこなう。
- ・ 毎年9月14日に開催するイベント（銀河鉄道の夕べ）。全国から鉄道愛好家が集まる。
- ・ 町内外の各種イベントに積極的に参加し、交流を深める。
- ・ 維持管理費については、町より若干の補助金の交付を受けている。
- ・ 委員会のメンバーは、富内地域の4自治会の役員や主だった団体の関係者等で構成されている。

③ 公園化によつての周辺整備が2000年に完成

廃線後、従来形のまま維持管理を進めてきたが、毎年訪れる人たちが増え、また周辺の整備も遅れ、建物の老朽化も進んだことから町に対して、整備改築の要請をしていた。財政的に厳しい事情からなかなか予算化されずに経過していたが、平成12年度に国・道・町の支援を受け、立派な公園が完成した。地域住民が参加し、手づくりによる公園ということで、全国から注目されている。



④ 2001年よみがえれ汽笛キャンペーンの展開

廃線15周年目の記念行事として、2001年9月14日にぼっちゃん列車を走らせた。

また、来年2006年は廃線20周年となるのでイベントの開催を計画している。

「坊ちゃん列車」

団体名

株式会社 小樽交通記念館

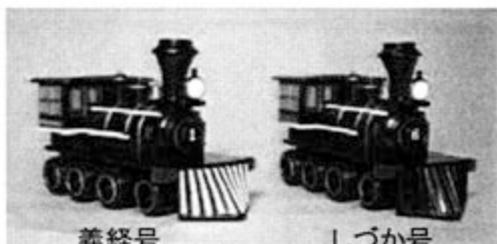
〒047-0041 北海道小樽市手宮1丁目3番6号

TEL 0134-33-2523 FAX 0134-33-2678

URL <http://www.otarukoutsukinenkan.com>

E-mail koutsukinen@mx6.et.tiki.ne.jp

オリジナルチョコQ 第2弾！ 「義経号」の発売



義経号

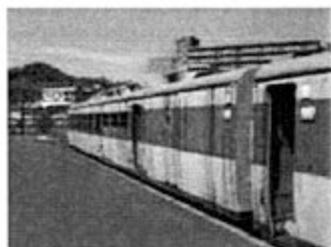
しづか号

昨年発売した「しづか号」チョコQが好評につき今年は「義経号」チョコQを製作しました。販売価格は1個1000円、義経としづかのセットのランデブーパックはお得な1800円となっています。販売は館内のみ限定販売。(通販、ネット販売は行っていません)

※総会では加盟会員に特別価格(セットで1500円入館券付き)で販売いたします。

車両修復の状況

今年の屋外展示の修復は「キシ80」食堂車を行っています。傷みの度合いがひどく片側の塗装を終えるまでに約2ヶ月を費やす難作業でした。



修復前



修復中



塗装完了

鉄道関連イベント

小樽保線区OBの協力で行われている「線路道床搗き固め音頭」の実演も今年で10回目を迎えました。これからも多くの皆様にこの活動をどうPRしていくかが今後の課題です。



実演の様子



OBの協力による
軌道自転車
乗車体験

※昨年9月8日北海道に台風18号が上陸、記録的な暴風で当館にも被害が及びました。

- ・重文の3号館機関車庫の屋根トタン3枚剥がれる。
- ・準鉄道記念物の北海道開通起点標の石碑先端が飛ばされる。
- ・客車「オハフ33」の屋根が剥がれ、となりの「マニ30」に傷がつく。
- ・アイアンホース号の客車が車輪止めを乗り越え転車台に落下。



団体名	磐越西線SL運行推進協議会	〒965-0816 福島県会津若松市南千石町6-5 (会津若松商工会議所内) Tel:0242-27-1212 Fax:0242-27-1207 URL: http://www.aizu-cci.or.jp
-----	---------------	---

SL 磐梯会津路号 JR 磐越西線 会津若松～郡山間

運転車両 蒸気機関車/C57 180号
(1937年三菱重工製)
12系客車6両+展望車1両
(定員480名、全車指定席)

運転区間 【上り】会津若松～郡山
【下り】郡山～会津若松～七日町

運転期間 4月下旬～11月下旬の土・日・祝
日を中心に運転



運 転 日 (2005年)

	【上り】会津若松～郡山	【下り】郡山～七日町
4月	29日(祝)	30日(土)
5月	28日(土)	29日(日)
6月	25日(土)	26日(日)
7月	23日(土)	24日(日)
8月	13日(土) 27日(土)	14日(日) 28日(日)
9月	10日(土) 23日(祝)	11日(日) 25日(日)
10月	22日(土)	23日(日)
11月	12日(土)	13日(日)

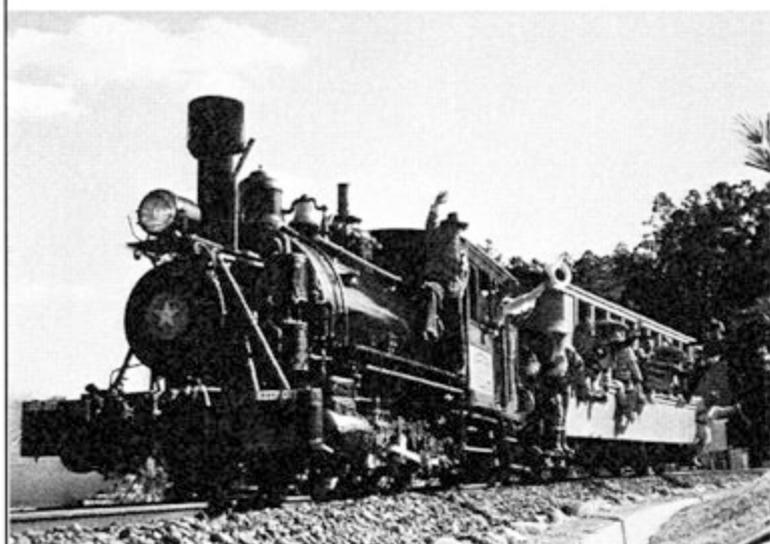
備 考 SL D51、C11の特別運転もある。(運転日はJR各駅でご確認下さい)

近況報告 会津地域は、JR 磐越西線(郡山～会津若松・七日町～新潟間)とJR 只見線(会津若松～只見間)にSL C57・C11が運転され、全国的に「SLが走る里」として定着しています。

商都郡山から磐梯山、猪苗代湖を望み、千円札の肖像にもなっている野口英世のふるさと猪苗代を経て、歴史の街会津若松、そしてレトロな町並みを見せる終着駅七日町への優雅なSLの旅をお楽しみください。

本年も土曜・日曜・祝日を中心にJR 磐越西線に「SL 磐梯会津路号」が汽笛を鳴り響かせ走っております。是非「観光会津」の旅をお楽しみに！！

団体名	大高企業株式会社 ウエスタン村	〒321-2421 栃木県今市市栗原 315-1 Tel.0288-21-8731 Fax.0288-21-7093
-----	--------------------	--



ウエスタン村内を周遊するワイパウ号

2005年 ボールドウィン

「ワイパウ号」運転日

毎日運行 9:00~17:00

■区間 ウエスタン村内 (エンドレス)

■運賃 500円 (一周)

■保有車輛

バージニア号 (H. K. ポーター)

ワイパウ号 (ボールドウィン)

客車一輛 (アーチパー台車をはいたもの)

カブス一輛 (展示)

[近況報告]

- 1991年 7月 バージニア州にあるウエスタンのテーマパーク「トーピーズ、ミル アンド ミッションクリーク」より1926年製のH. K. ポーター「7036号」を購入。
- 1992年 4月 H. K. ポーター「7036号」が、ウエスタン村に到着。
- 1993年 5月 「7036号」は、「バージニア号」と命名されウエスタン村において運転を開始する。
- 1993年 5月 「バージニア号」の運転開始と入れ替わりに、BLW「ワイパウ号」の全検にとりかかる。
- 1998年 7月 全検を終了し組立を完了する。
運行を再開する。
- 2003年 3月 HKポーター社「バージニア号」ボイラー (鉛管からの水漏れ) 破損のため現在修復中。

セグウェイ

米国で人気の電動モーター式二輪車「セグウェイ」が、ウエスタン村にやって来た。近未来の乗り物といわれ、アクセルやブレーキで制御するのではなく、体重を前後させることでスピードを調整する。方向はハンドルで操作し、その場で360度回転できるという優れたものだ。ウエスタン村では、2003年夏休みより毎日体験できるコーナーを設けております。

団体名	真岡線SL運行協議会	〒321-4305 栃木県真岡市荒町5203番地 TEL 0285(82)9151 FAX 0285(82)9152
-----	------------	--



筑西市誕生記念
SLもおか重連運転

「SLもおか」2005秋・運行日程

【運行日】	10月 1日・2日・8日・9日・10日・14日 15日・16日・22日・23日・29日・30日 11月 3日・5日・6日・12日・13日・19日 20日・23日・26日・27日 12月 3日・4日・10日・11日・17日・18日 23日・24日・25日
【運行区間】	真岡鐵道 下館駅～茂木駅（41.9キロ）
【運行時間】	下り 下館駅10:36発～茂木駅12:02着 上り 茂木駅14:28発～下館駅15:55着
【運行車両】	SL C12形66号 C11形325号 PC オハ2両 オハフ1両 DL DE10 1535 1両

〔近況報告〕

◆重連運転を実施！

- 平成17年4月2日（土）筑西市の誕生を記念しての重連運転

真岡線の始発駅のある下館市が3月に近隣の3町と合併し、新たに「筑西市」が誕生しました。

「筑西市」の誕生を記念したSLの重連運転には、筑西市の市章をデザインしたヘッドマークや4市町の紹介写真を客車内に展示し、乗客のみなさんと一緒に新市の誕生を祝いました。

また、C11の初めて全般検査も完了し、元気な姿を披露する重連運転とあって、沿線はSLファンやカメラマンが多数訪れ、大きな声援をいただきました。

◆ミュージカル公演とのタイアップ事業！

- 平成17年5月28日（土）「銀河鉄道の夜」プレイベント列車運行

わらび座ミュージカル「銀河鉄道の夜」真岡公演とのタイアップ事業としてプレイベント列車の運行を行いました。舞台衣装でSL列車に乗車した2人の俳優は、ミュージカルの登場人物に関するクイズや劇中歌を熱唱し、車内はたくさんの拍手で盛り上がりました。



◆ボランティアの皆さんとSL教室を開催！

夏休みのSL体験プログラム「SL教室」。今年は「もおかSL倶楽部」の会員の皆さんが、企画、募集、運営などすべてを役割分担し、手作りの体験教室となりました。参加者は、動く仕組みや駅構内の設備を学んだ後、SL運転室を見学し「あつい運転室」を体験しました。

★SLを活かした新しい取り組み！

- 真岡市は、市の観光の3本柱である「木綿」「SL」「温泉」の連携を図り、全国へのPRや首都圏からの誘客を推進するため「真岡コットンまつり」を開催します。

開催期間は、9月24日から10月16日までで、SLの出発式をはじめ多彩なイベントが計画されています。

★民話を旅の思い出に〈茂木駅〉！

「茂木駅でふるさとの民話を楽しむ会」が、毎月1回開催されています。

SLの乗客の皆さんに地域の民話を披露し、旅の思い出にしてもらおうと始められたものです。

雰囲気のある舞台上、軽妙な語り口で紹介される民話は、ゆったりと心安らぎ、たいへん好評です。



団体名

日本工業大学 工業技術博物館

345-8501
埼玉県 南埼玉郡 宮代町 学園台 4-1
Tel. 0480-34-4111 (大学代表)
Fax. 0480-33-7570 (博物館直通)



写真1 製造されて114年、疾走する2109号蒸気機関車の勇姿

2005年の運転について

2109号蒸気機関車を原則として、8月と12月を除く毎月第3土曜日に定期有火運転し、一般に公開している。写真1にキャンパス内で運転中の様子を示す。

このほかにも学園祭等のイベント時にも有火運転を行っており、運転予定日時等の詳細は、当博物館事務室に問い合わせ下さい。また、急な都合により運転内容・日時を変更させて頂く場合もあるので、ご容赦願います。

2005年の修理状況について

2109号蒸気機関車に用いられている左右2台のインゼクターの修理(OH)を実施した。併せて、ボイラー内に組込まれている左右の繰出管内部の洗浄も行った。インゼクターは、ボイラーより取外し(写真2、写真3)、大井川鐵道(株)により、大規模な部品交換無く、薬品による洗浄・摺り合わせ・動作検査等を済ませて納品して頂いた。

また、インゼクターからボイラー内にボイラー水を給水する繰出管内部の洗浄は、(有)相模ボイラーサービスにより洗浄剤(サビノンFW)を用いて時間をかけて慎重に実施した。その様子を写真4に示す。洗浄後の中和処理は、繰出管内部に残留する洗浄剤が無くなるように、より一層慎重に行った。

もちろん、用いた薬剤は、環境に配慮して的確に処理した。

修理後、インゼクターは好調に作動している。



写真2 取外されているインゼクター

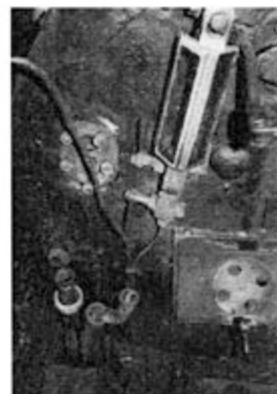


写真3 インゼクターを取外した後の様子

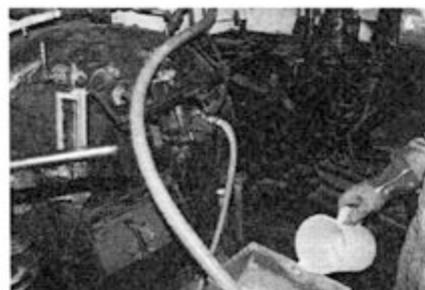


写真4 繰出管を洗浄している様子

団体名	西武鉄道株式会社	〒359-8520 埼玉県所沢市くすのき台1-11-1 Tel 04(2926)2281 FAX 04(2926)2239
-----	----------	---

【平成16年度の活動】

今年は、昭和44年10月14日に西武秩父線が開通してから35周年を迎え、さまざまな記念イベントを開催した。その一環として、10月3日（日）、池袋線車両所横瀬車両基地において、「西武トレインフェスティバル2004 in 横瀬」を開催した。

今年で本線の運転を引退する101系電車をデビュー当時の色に塗装した臨時電車を運転したほか、静態保存してある古典電気機関車や5000系レッドアローなどの車両展示、電気機関車と貨車の連結作業の実演、鉄道グッズの販売等を行い、多くの鉄道ファンが来場した。



団体名 財団法人 東日本鉄道文化財団

郵便 151-8578

東京都渋谷区代々木 2-2-2

Tel: 03-5334-0623 Fax: 03-5334-0624

鉄道博物館 Museum of Railway

本年秋着工！ 2007 年秋開館へ向けて鋭意準備中！

前回の総会でも紹介させていただきましたが、東日本鉄道文化財団では、2007 年秋の開館まで約2年となった、鉄道博物館の設計を進めています。本年1月には初の車両輸送を開始し、7月には車両の修復にも着手しました。この秋にはいよいよ本体工事に着手する予定です。

■計画概要(基本設計完了に伴い、一部変更しております)

敷地面積: 約 42,500 m² 展示車両: 35 両を予定

延床面積: 約 20,000 m² 開館時期: 2007 年度秋を予定

ホームページ: <http://www.railway-museum.jp>



■キハ11形式輸送(本年1月)

茨城交通(株)より購入した気動車をJR郡山総合車両センターへ輸送しました。専用ヘッドマークを取り付けた列車を仕立てました。



■キハ41000形式輸送(本年3月)

キハ048保存会からご寄付いただいた気動車をJR郡山総合車両センターへ輸送。7月には補修を開始しました。

== 旧新橋停車場鉄道歴史展示室で特別展を開催 ==

東京・汐留の旧新橋停車場において、「鉄道技術と暮らし、その身近な関係 ～2007年、鉄道博物館からの・・・」と題した特別展を開催しています。ここでは、鉄道のインターフェイスとして発達を続けてきた「案内表示」にスポットを当て、社会や暮らしの発展とともに成長してきた鉄道の技術発達の歴史を紹介しています。鉄道博物館では、鉄道の技術革新の歴史を分かりやすく来館者に伝えることを狙いとしています。その一例を紹介する格好です。多くの可動展示を用意し、皆様のお越しをお待ちしています。



■ 11月13日まで開催 入場無料

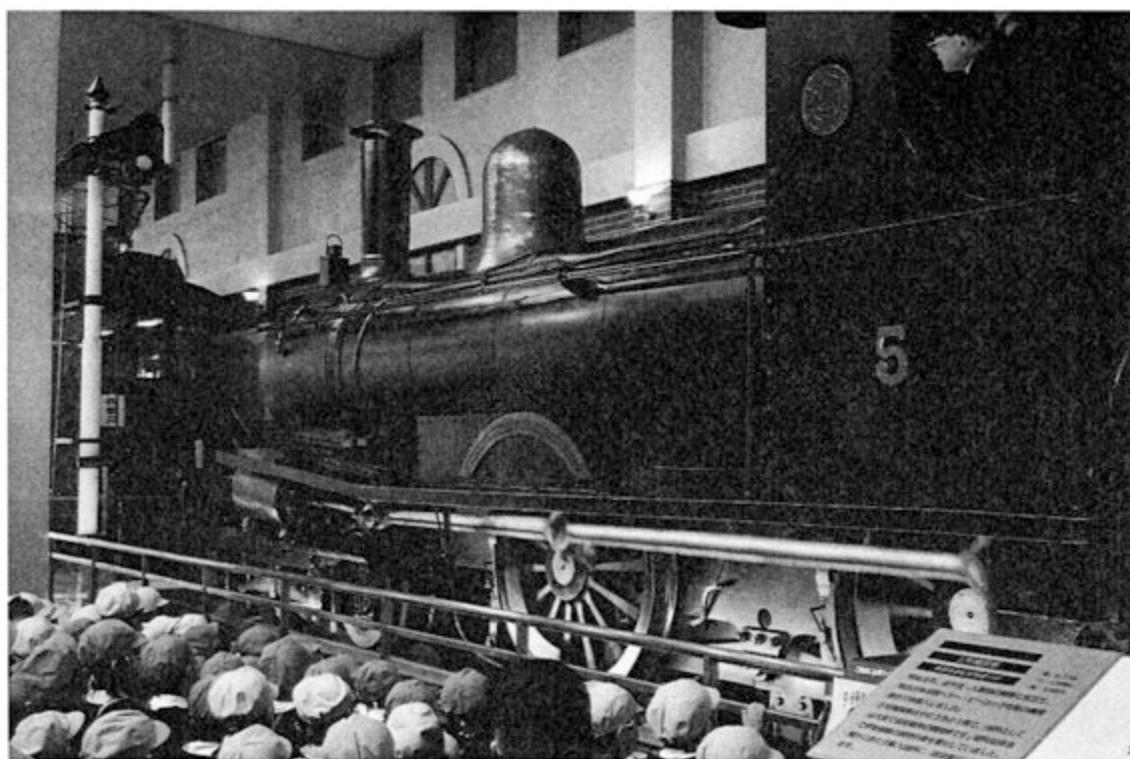
■ 11:00~18:00 月曜休館

展示室の様子です。左に写っている反転式発車標は実際に京都駅で使用されていたもので、時刻にあわせて稼動しています！

団体名	財団法人 東武鉄道共助会 東武博物館 TOBU MUSEUM OF TRANSPORT&CULTURE	〒131-0032 東京都墨田区東向島 4-28-16 TEL 03-3614-8811 FAX 03-3614-8814 URL: http://www.tobu.co.jp/museum
-----	--	---

保存車両●明治30年英国製蒸気機関車2両（1台は車輪の回転見学可）、大正13年製木造電車をはじめ、東武鉄道の歴代車両を9両展示（一部保存を含む）。

施設概要●実物車両や電車やバスのシミュレータ、模型電車が走るパノラマショーなどを通して、鉄道、バスについて楽しみながら学べる施設をめざしている。



団体名	財団法人 交通文化振興財団	〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-25 TEL 03-3251-8481 FAX 03-3251-8489
-----	---------------	--

交通博物館



陸・海・空のあらゆる乗り物の実物や模型を集めた、交通の総合博物館です。1921年(大正10)、鉄道開業50周年記念事業のひとつとして鉄道省が開設した鉄道博物館が前身となっています。

青梅鉄道公園



1962年(昭和37)に鉄道開業90周年記念事業として旧日本国有鉄道が開園した、実物の鉄道車両を中心に、保存展示公開しているユニークな公園です。園内には日本の鉄道発達史上欠くことのできない、貴重な車両(11両)が屋外展示されています。

【財団のあらまし】

交通文化振興財団は、交通に関する知識の普及をはかり、もって交通文化の振興に寄与することを目的として、1970年(昭和45)11月25日に財団法人として設立されました。

主な事業として、「交通博物館」「青梅鉄道公園」「交通科学博物館」「梅小路蒸気機関車館」などの博物館運営を行っています。

※「交通科学博物館」「梅小路蒸気機関車館」につきましては、西日本旅客鉄道株式会社のページをご覧ください。

【交通博物館の移転について】

交通博物館は、JR東日本創立20周年にあわせ、2007年に埼玉県さいたま市大宮区(JR大宮駅より埼玉新都市交通「大成」駅下車徒歩1分)へ移転予定です。

現在の博物館(東京都千代田区)は、その前年の2006年春に閉館を予定しています。

<2004年度～2005年度上期 活動報告>

期 間	タイトル	会 場
2004/ 4/29～5/5	大型鉄道模型(Gゲージ)運転会	交通博物館 2階特設会場
2004/ 5/2～5	ミニミニ機関車運転乗車会	交通博物館 4階屋上
2004/ 8/15～22	ヨーロッパ鉄道模型(HOゲージ)運転会	交通博物館 2階特設会場
2004/10/2～2005/1/30	「JR電車100周年記念展～甲武電車から新幹線まで」	交通博物館 1階特別資料展示室
2004/10/9～11	0系新幹線乗務員室一般公開	交通博物館 前庭(入口横)
2004/10/9～17の土日祝日	蒸気機関車の汽笛吹鳴	交通博物館 1階機関車ホール
2004/10/17	鉄道の日記念講演会 テーマ「鉄道廃線跡の楽しみ」その他	交通博物館 3階映画ホール
2004/10/1～31	親子の写真コンクール	青梅鉄道公園
2005/ 2/8～5/29	東京駅開業90周年「東京のターミナル形成史」展	交通博物館 1階特別資料展示室
2005/ 3/25～4/3	ブラレール広場であそぼう!	交通博物館 2階特設会場
2005/ 4/29～5/1	C57形機関車運転室公開	交通博物館 前庭(入口横)
2005/ 5/3～5	ミニミニ機関車運転乗車会	交通博物館 4階屋上
2005/ 6/14～閉館迄	特別展示「交博秘蔵乗り物模型蔵出し大公開」	交通博物館 1階特別資料展示室
2005/ 6/18～閉館迄	特別展示「交博所蔵洋画特別公開」	交通博物館 1階特別資料展示室
2005/ 8/6～閉館迄	幻のターミナル万世橋	交通博物館 1階展示室
2005/ 8/6～21	ブラレール広場であそぼう!	交通博物館 2階特設会場

<2005年度下期 活動予定>

2006/ 1 ～閉館迄	「かくれたコレクション展」	交通博物館 各展示室
2006/ 1 ～閉館迄	「交通博物館の歩み展」	交通博物館 1階展示室
2006/ 3 ～閉館迄	「東京ソリッドモデルクラブ模型展示会」	交通博物館 3階展示室

※ 定例行事 交通博物館3階映画ホールにて、所蔵フィルムを中心に、交通・科学・産業技術に関する作品を、土・日・祝日に上映しています。

団体名	財団法人 日本ナショナルトラスト	〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル923区 TEL 03-3214-2631 FAX 03-3124-2633



写真 酒井 誠・JNT会員

2005年「トラストトレイン」運転日

4月23日・5月28日・6月25日・7月9日
8月27日・9月10日・10月1日・12月3日

いずれも土曜日に運転

* 8月27日は「SL保存ボランティア」を開催

〔区間〕 大井川鐵道 金谷―千頭間 (39.5km)

〔運賃〕 (SL急行料金含む)

金谷―千頭 (片道 2,370円)

〔保有車両の編成〕

C12形164号蒸気機関車、スハフ43形2・3号客車、

オハニ36形7号荷物合造客車

〔運行時間〕

金谷駅 12:44 発→千頭駅 13:58 着

千頭駅 15:32 発→新金谷駅 16:44 着

〔近況報告〕

- 平成16年4月24日～ C12形蒸気機関車の運転前の火入れ・油差し等の準備作業の手伝いボランティア、
4月・7月・8月・10月の各月ごとに新デザインのヘッドマークを装着し、走行
- 6月～ C12形蒸気機関車の定期検査
- 8月28日 第6回SL保存ボランティアを開催
- 平成17年2月8日 大井川鐵道との管理運営会議

- 平成16年度は4月～11月まで計8回の運転を行い、乗客数1,297人、
ボランティア参加数80名、車内募金266,674円という結果だった。



平成16～17年度のトラストトレインの運転

トラストトレインは、一昨年の8月末に起きた大井川鐵道神尾駅付近での土砂崩れの関係で、平成15年度は9月から運転を見合わせていましたが、平成16年度は4月から元気な姿で復帰し、11月まで計8回の運転をしました。ボランティアの方が作製した新デザインのヘッドマークを2ヶ月ごとに取り替えるなどし、記念撮影をする乗客の方や沿線のカメラマンにたいへん好評でした。

一昨年来、ATSの設置問題が浮上しているC12形蒸気機関車は、平成17年度は4月の運転日以降は大井川鐵道の機関車が代走して、トラストトレインとして客車3両を牽引して運行しています。ATS設置には多くの費用がかかるため6月より「ATS取り付け募金」を開始し、全国の皆さまより温かいメッセージとともに順調に募金が寄せられています。一方、客車は外板の塗装と床が傷んでおり、特に外板の塗装は膨れやひび割れがひどく、早急に対処する必要があります。また、スハフ43形の天井灯の白熱灯化のためのガラスカバーが1両分皆さまのおかげで集まりましたので、来年度中に取り付けする予定です。

市民参加により動態保存している唯一のSL列車「トラストトレイン」はこれからも皆さまの夢を乗せて走り続けたいと思います。ぜひ、ご支援をお願いいたします。

■上松町 赤沢森林鉄道

〒399-5603

長野県木曾郡上松町駅前通り2-13 上松町役場内

TEL 0264(52)2001 FAX 0264(52)1038

<http://www.avis.ne.jp/~hinoki/>



2005年、赤沢森林鉄道は
次の日程で運行されています。

■ 2005年度運行日程

4月29日～11月6日までの土曜・日曜・祝日運行
うち、下記の日程で連日運行があります。

GW 4月29日～5月8日

夏休み期間 7月23日～8月28日

紅葉シーズン 10月1日～30日

- 運行時刻 土曜・日曜・祝日 9:30～15:30の30分毎に1便運行
※ 夏休み運行期間中は 9:00の便が追加されます。
※ 紅葉シーズンの平日は、10:00～15:00までの1時間毎に1便運行
- 乗車料金 (15名以上は団体・各100円割引)
大人700円 4歳～小学生400円
※ 夏期イベント期間(8月6日～15日)は、イベント参加料金となります。
大人 1200円 4歳～小学生400円
- 運行区間 森林鉄道記念館前～丸山渡停車駅 往復2.2kmを25分で運行

【2005年の記事】

木曾森林鉄道が廃線されてから、30周年が経ちました。最後の路線となった王滝線を結ぶ「王滝村・上松町」では、30周年を記念してGWに記念イベントを開催。また赤沢森林鉄道では、今シーズン通期で記念切符を販売しています。記念のピンバッジも販売していますので、お早めどうぞ。

6月3日には、赤沢周辺で伊勢神宮の御神木が伐採され、赤沢自然休養林も全国放送されました。今回は森林鉄道に運搬のお役はありませんでしたが、6月に訪れたお客様のために、「太一」記念切符を、限定3,000枚で販売いたしました。

秋の紅葉シーズン、今年も森林鉄道は連日運行いたします。台風が連発した昨年でしたが、今年は綺麗な紅葉と晴天を望まずにはられません。多くのお客様のご乗車をお待ちしています。



団体名	財団法人	〒410-2416
	伊豆市振興公社	静岡県伊豆市修善寺4279-3
	修善寺虹の郷	Tel 0558-72-7222 Fax0558-72-7133



保有車両

蒸気機関車 4両	
ERNESST W TWINING	CAMBRIA
NORTHRN ROCK II	C-11
ディーゼル機関車 2両	
JOHN SOUTHLANDO II	
CITY OF BIRMINGHAM	

[近況報告]

平成16年10月9日の台風の為、線路沿い3箇所土砂崩れで、3月1日まで
ディーゼル機関車でスイッチバック運転を行なう。

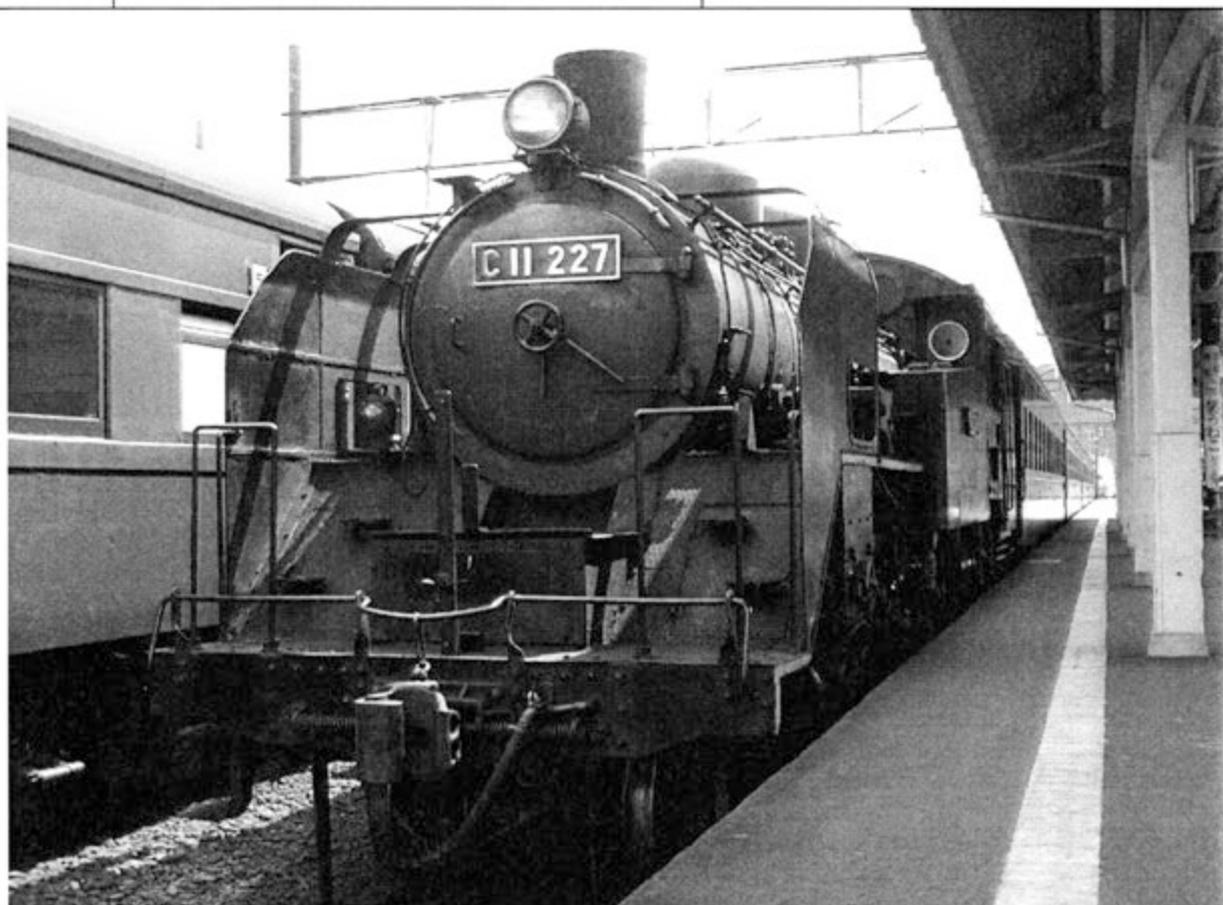
	10月	ジョン・サウスランド 水温計センサー修繕
	12月	ノーザンロック 車輪取り外しフランジ加工修繕 ノーザンロック 右従輪短バネ修繕
平成17年	1月	ノーザンロック 下廻り錆び取り塗装 1号橋枕木交換33本 ノーザンロック・カンブリア 塗裝修繕
	2月	ノーザンロック 煙管水漏れ修繕
	3月	シティーオブバーミンガム オイルクーラーラジエーター オイル漏れ修繕センサー交換
	4月	カンブリア 蒸気シリンダーパピットパッキン交換
	5月	カンブリア 左第二動輪リターンウエイトガタ修繕 客車ボギー整備
	6月	軌道修繕 ジョン・サウスランド ラジエーターホース交換 ノーザンロック 蒸気圧カゲージ交換 ノーザンロック 右先輪短バネ破損修理
	7月	カンブリア プラストパイプ蒸気漏れ修理 6号踏み切り板交換
	8月	オープン客車製作中 2両 ノーザンロック 従輪軸受けメタル交換
	9月	シティーオブバーミンガム サーモスタット交換

伊豆市は虹の郷の入園者が減少し、指定管理者制度を検討中。

団体名

おかげさまで創立80年
大井川鐵道株式会社

〒428-8503
静岡県島田市金谷1112-2番地
TEL0547-45-4111 FAX0547-45-4115



蒸気機関車 C11227

昭和17年に製造されて以来、現在まで約63年間ひたすら走り続けてきました。まだまだ現役です。

◎大井川鐵道株式会社 SL川根路号 金谷～千頭(静岡県)

運転車両 : 蒸気機関車 / C108号・C11190号・C11227号・C11312号・C5644号
C12164号(日本ナショナルトラスト所有)

電車 / 元近鉄16000・南海21000・京阪3000他

運転期間 : 通年運転
※SL列車は、原則として12月上旬から3月中旬の火・水・木曜日は運休(平成17年度)

備考 : インターネットを利用したSL列車座席予約を開始しました。
(大井川鐵道公式ホームページにて承ります。)

問合せ先 : 大井川鐵道株式会社 鉄道サービスセンター
Tel. 0547-45-4112
ホームページ: <http://www//oigawa-railway.co.jp>

大井川鐵道公式ホームページでは、車両の紹介をはじめ、各種割引乗車券、イベントの情報などをご案内しております。

団体名 東海旅客鉄道株式会社

〒450-8520 名古屋市中村区名駅一丁目3番4号
東海鉄道事業本部 車両部 管理課

TEL 052-564-2461 FAX 052-564-2462

佐久間レールパーク展示車両今年も修繕完了

当社の飯田線中部天竜駅に隣接した「佐久間レールパーク」には常設展示車両として16両あります。4年前までに外板修繕を終え、3年前からは車内及び屋根周りの修繕を実施し、昨年度はキハ181-1、クモハ52004、オハ352206の3両について修繕実施し、今年度はマイネ407、キハ48036、オヤ3112、クモハ52004の4両について修繕実施、計画中です。

【マイネ407】



【キハ48036】 外板塗装修繕中



【オヤ3112】 車内を中心に修繕中



【クモハ52004】 前面窓周囲を修繕予定



団体名	博物館明治村	〒484-0000 愛知県犬山市内山1番地 TEL: 0568-67-0314 FAX: 0568-67-0358 http://www.meijimura.com
-----	--------	---

営業内容

- ・開村時間 9:30～17:00 (3月～10月)
9:30～16:00 (12月～2月)
 - ・休館日 12月～2月までの毎週月曜日 (祝日の場合は開館)・12月31日
 - ・蒸気機関車 平日 30分間隔運行 土日祝 20分間隔運行
区間 明治村名古屋駅⇔明治村東京駅 (約800m)
運賃 片道 大人 300円 小学生 150円
乗物一日券 (SL・市電・村営バス共通) 大人 800円 小学生 500円
 - ・京都市電 平日・土日祝 20分間隔運行
区間 市電名古屋駅⇔京都七條駅⇔品川燈台駅 (約800m)
運賃 1乗車 大人 300円 小学生 150円
乗物一日券 (SL・市電・村営バス共通) 大人 800円 小学生 500円
- 「乗物一日券」がセットになった、お得な入村券も窓口で発売。
料金/大人65歳以上 1,800円、大人18歳以上 2,200円、高校生 1,600円、
小中学生 1,000円



近況報告 (平成16年度)

- ・蒸気機関車12号・9号
平成16年5月～6月、11月～12月に専門業者による整備、清掃を実施した。
主な作業内容は以下のとおりである。

- 12号: 1874年(明治7)イギリス シャープ・スチュアート社製 1B型タンク機関車
A) 安全弁の摺り合わせ、B) 各種バルブの交換、C) 火室・煙管のガス側・水側の清掃、
D) 各部足回りの調整、E) 煙室内の耐火モルタル煉瓦の張り替え
- 9号 : 1912年(明治45)アメリカ ボートウイン社製 C型タンク機関車
A) 安全弁の摺り合わせ、B) 各種バルブの交換、C) 火室・煙管のガス側・水側の清掃、
D) 各部足回りの調整、E) 制輪子の交換・蒸気弁の分解整備

- ・京都市電
毎月1回、専門業者による車輛点検を実施
1号 16年12月に外側塗装の塗り替えを実施
2号 17年1月～2月に足回りの分解整備、外側塗装の塗り替えを実施
トロリーポールの分解整備

団体名	西日本旅客鉄道株式会社	〒530-8341 大阪市北区芝田2-4-24 TEL06-6375-8513
-----	-------------	---

去る4月25日の福知山線列車事故により、当会ははじめ鉄道に携わる多くの皆様方にも、多大なるご心痛、ご迷惑をおかけしたものとお察し申し上げます。この場をお借りいたしまして、衷心よりお詫び申し上げます。

現在、安全を最優先する企業風土の構築に、全社を挙げて取り組んでいるところです。私たち一人ひとりが、お亡くなりになられた方のご無念、ご遺族の皆様やお怪我をされた皆様のお悲しみやお怒りのお気持ちを深く心に刻み、全てのお客様に安心してご利用いただける鉄道の再生に、全力で取り組んでまいりたいと考えております。

○新たな「鉄道記念物」を指定しました

昨年10月14日（鉄道の日）、新たに「鉄道記念物」4点を指定しました。当社では、これまで4点の鉄道記念物と16点の準鉄道記念物を有してきましたが、いずれも旧国鉄時代に指定されたもので、当社管内では実に43年ぶりの鉄道記念物指定となりました。指定に当たっては、鉄道史等に詳しい「産業考古学会」の5名の先生方による調査、ご検討の結果をふまえました。特に重要な文化遺産として、今後も末永く維持・管理してまいります。

<新たに指定された鉄道記念物> ※いずれも交通科学博物館に所蔵されています。



義経号機関車



233号蒸気機関車



1801号蒸気機関車



EF52 1号電気機関車

○「交通科学博物館」が一部リニューアルしました

今年3月1日、交通科学博物館（大阪市港区）の第2、第3展示室のリニューアル工事が無事完成し、オープンを迎えました。

現在の展示室は、「鉄道の歴史・文化、技術・科学を人々に分かりやすく伝える」という運営理念のもと、「鉄道のおいたち」「鉄道車両のしくみ」などをテーマにした7室構成としていますが、一部の展示品の老朽化や陳腐化が進んでいること、また、文章が中心となっている展示解説が来館者の大半を占めるお子様方にとってわかりにくい、といったいくつかの問題点があり、これらを解消する目的でリニューアルを行いました。

新しい第2、第3展示室は、それぞれ「鉄道の誕生」と「鉄道のあゆみ」をテーマとしています。映像による展示を中心に据え、日本の鉄道の生い立ちと進歩について、あらためてわかりやすくご理解いただけるものになりました。



リニューアルされた館内



スロープを設置 バリアフリーにも配慮



「ポッポくん」が鉄道の歴史を分かりやすく解説する「ポッポシアター」は子どもたちに大人気

鉄道文化遺産は、多くの先人たちが築き上げてきた「鉄道」の歴史をたどる上での貴重な足跡であり、これらを末永く後世に引き継いでいくことは、より安全な鉄道を構築していく上でも、意義深いことと考えております。

今後も皆様方のご理解とご協力を賜りたいと存じておりますので、よろしくお願い申し上げます。

団体名

カヤ興産株式会社
(加悦SL広場)

〒629-2422 京都府与謝郡加悦町字滝941-2

TEL 0772-42-3186 FAX 0772-43-0080



指定を受けた123号蒸気機関車 【加悦鉄道2号機】

1 2 3号蒸気機関車が重要文化財に指定

加悦SL広場の車両群の中で「2号」の愛称で親しまれております明治6年(1873年)英国: Rt. Stephenson社製の蒸気機関車と、その機関車台帳が鉄道院時代の車番であった「1 2 3号蒸気機関車」として平成17年6月9日 重要文化財に指定されました。

[近況報告]

- 平成16年11月 SL広場周年祭 を開催しました
- 平成17年 5月 初夏の加悦鉄道まつり

- 16年9月～ 付随木造客車等の修復工事を実施
「キハユニ51」内燃動車 「ハ10木製客車」 完了
「TCM100」モーターカー 「KD-4(カトーくん)」ディーゼル機関車 他 修復中

団体名	ふるさと鉄道保存協会	〒606-0944 京都市左京区松ヶ崎御所ノ内町 26 TEL:090-9692-2689 FAX:075-791-8005
-----	------------	--

ふるさと鉄道保存協会はボランティアと実活動に軸を置いて全国に会員を持ち、各地の課題ごとに WG (Working Group) を作り活動致しております。鉄道という専門性を求められる業界において、日本のこれまでの保存鉄道に関わるボランティアの役割は掃除や販売業務など限定されたものでした。私達、ふるさと鉄道保存協会は車両の補修から運行まで専門知識と技術の習得を通して専門性の高いボランティアの育成を続けております。同時に当会の事業資金は会員からの会費や寄付金で賄われております。将来はより高い専門性を持った組織を作り、欧州型のボランティア組織で支える保存鉄道の実現を目指して参りたいと存じております。

以下、現在活動している主な WG を紹介いたします。尚、天竜二俣キハ 20 修復 WG 及び、ちゃりトロ WG は初めてのご紹介となります。

●蒲原鉄道 WG 齋藤幸祐

鉄道廃止後 6 年経過後も、時折、廃線紀行などでマスコミが取り上げていることもあり、今でも取材依頼があります。無償譲渡を受けた図面等の技術資料は大切に保管して、これからも鉄道の歴史を後世に伝えたいと考えています。

●鉄道郵便 WG 中井健二

のと鉄道能登島駅構内で保存されているオユ 10 を所有、保存しており、鉄道郵便 OB が中心に車内での仕分け作業再現などを行っています。のと鉄道の「鉄道小公園」整備により、パノラマカー、保線除雪機械と並んで随時公開されています。



●天竜二俣キハ 20 修復 WG 山崎義和

JR 東海様と浜松市の了解と協力を得ながら、天竜二俣駅なりに留め置かれている旧国鉄・二俣線で走っていたキハ 20 と、花形だった寝台車のナハネ 20 を保存・修復活動しています。地元・浜松市民の皆様など、一般の方でも参加できるのが最大の特徴です。町の明るい話題作りにも一役を担っています。趣味的な視点に拘らず、みんなで楽しめるよう、努力を続けていきます。



●貨物鉄道博物館 WG 笹田昌宏

三岐鉄道丹生川駅の旧貨物ホームに開館した博物館の運営に協力しています。開館日は毎月第一日曜（1 月のみ第二日曜）です。今年は、博物館スタッフと協力して、展示車両である巴川製紙所 DB101（1956 年協三工業製造）のタッチアップ補修を実施致しました。

●ワフ 30037 伊賀 WG 中盛汀

今年度は、廃線問題が出ている近鉄伊賀線の活性化に、近鉄、県、市、他団体と協働で取り組む「伊賀線協働塾」を開催しています。また皆様方からのご指導も、よろしくお願いいたします。

●有田鉄道 WG 橋野穰

2002 年 12 月 31 日をもって廃止となった有田鉄道金屋口構内で車両の保守管理を行いながら、将来の鉄道公園設置構想に向けて、自治体との協議を重ねています。



●ちゃりトロ WG 亀井高行

九州を拠点に軌道自転車を使ったイベントを開催していきます。9 月には平成筑豊鉄道とタイアップし勾金でイベントを行いました。



●ヨ 9001 WG 三阪芳史

福岡県田川郡赤村にあります、自然学習村源じいの森でふるさと鉄道保存協会より譲渡し保存されているヨ 9001 の保守と公開を行っております。今後は、赤村や柚須原線トロッコ、新規事業のチャリトロ（軌道自転車）の紹介、筑豊地区の鉄道歴史の紹介など展示面でも充実させていきます。

他にも課題や地域の自治体が所有する車両の補修など様々な活動を行っております。今後も枠にとらわれず活動を続けていく所存です。ボランティアとして参加したい方、当会とのタイアップをご希望の団体様は当協会理事長笹田までご連絡下さい。

団体名	魚梁瀬森林鉄道運営委員会	〒781-6201 高知県安芸郡馬路村馬路村魚梁瀬 馬路村役場魚魚梁瀬支所 Tel.08874-3-2211 Fax.08874-4-2208
-----	--------------	--

【近況報告】

平成 17 年

3 月・7 月 車両及びエンジンの点検

7 月 16 日 フェスティバル魚梁瀬

7 月 24 日 「山の学校留学」夏季体験入学で、体験乗車

* なお、予約があればいつでも運行可。

* また、L69 が現在故障中であるが、修理費が高いため費用の都合がつかず修理ができない。



昭和 63 年に森林鉄道に関係しておった人らあが、酒の勢いでわしらを走らそうと言う事になり、魚梁瀬の丸山森林公園で走らしてもらいゆ。暇があったら見に来てや！

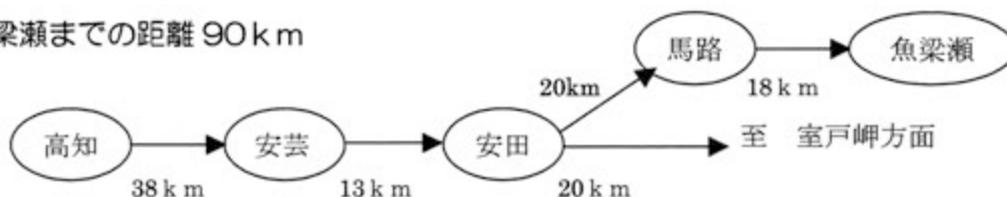
魚梁瀬森林鉄道

場 所 高知県安芸郡馬路村魚梁瀬・丸山森林公園内
 距 離 400 メートル (2 周)
 運 転 日 日曜・祝日(8 月は土曜日も運転) 時間 10:30~15:00
 乗車料金 大人 400 円、小人 200 円
 保有機関車 野村式ディーゼル機関車、谷村式ディーゼル機関車
 岩手富士特殊軽量ガソリン機関車

馬路森林鉄道

場 所 高知県安芸郡馬路村馬路 西谷川入り口 (馬路温泉前)
 距 離 300 メートル (2 周)
 運 転 日 日曜・祝日・(8 月は毎日運転) 時間 9:30~15:00
 乗車料金 大人 300 円、小人 200 円
 保有機関車 ポーター蒸気機関車型ミニディーゼル機関車

高知から魚梁瀬までの距離 90 km



団体名	山口線SL運行対策協議会	〒753-8501 山口市滝町1-1 山口県観光交流課内
-----	--------------	---------------------------------



- 2005年の「SLやまぐち号運行日」
3月19日から11月27日までの間の土日祝日運行
春休み・GW・夏休み期間中は、ほぼ毎日運行
- 運行区間
JR山口線 新山口駅～津和野駅 62.9km
- 車両編成
C571、明治風客車、大正風客車、昭和風客車、欧風客車、展望車
※7月はC56160を連結しての重連運転を実施
- 車両運賃
新山口駅～津和野駅 大人1,620円 小人800円(全席指定)
- 運行時刻
下り(津和野行き) 新山口駅 10:33発 → 津和野駅 12:32着
上り(新山口行き) 津和野駅 15:10発 → 新山口駅 16:47着
- 本年度の活動状況
 - ・SLやまぐち号スタートイベント 3月19日
 - ・SLやまぐち号26周年記念事業 8月1日
 - ・沿線市町PRデー
- 宣伝広報関係
 - ・パンフレット作成 25,000部
 - ・ホームページ運営
タイトル「SLやまぐち号と沿線の旅」
URL <http://www.joho-yamaguchi.or.jp/c571/>

団体名

九州旅客鉄道株式会社

連絡先（住所・電話等）

〒812-8566 福岡市博多区博多駅前 3-25-21

TEL 092-474-2541 Fax 092-474-3898

九州鉄道記念館入館者数50万人突破!!

平成15年8月9日北九州市門司区のレトロ地区に九州鉄道記念館が開館してから、2年が経ち、先日入館者数50万人を突破しました。

「学んで、遊んで、鉄道のすべてがわかる。一日中楽しめる、九州鉄道記念館」

<本館>

明治24年建築、旧九州鉄道会社本社屋を利用したものです。

《明治時代の客車》

明治時代から活躍してきた本物の木造客車を記念館のメインシンボルとして展示。また、当時の乗客や車掌などの人形と、音の演出によって、かつての旅の情景を思わせます。

《運転シミュレーター》

811系近郊型電車の運転台で、門司港～西小倉間の運転を疑似体験できます。

《九州の鉄道大パノラマ》

九州を舞台としたHOゲージのパノラマ鉄道模型。博多駅・門司港駅からJR九州を代表する列車が次々と発車し、映像とナレーションで楽しめます。また、実物のマスコンの運転操作卓から操作することができます。

<車両展示場>

九州各地で活躍した歴代の車両を展示。実物車両の大きさや迫力、造形美を感じてもらう展示場です。

● 59634

● ED721

● クハネ581-8



● C591

● キハ0741

● セラ1239



● EF1035

● クハ481-603



《ミニ鉄道公園》

ミニ列車を自分で運転することができます。家族みんなで楽しめる公園です。料金は1台につき1回300円。

● 787系つばめ

● 883系ソニック

● 885系かもめ

● 72系ゆふいんの森

● 813系（近郊型電車）

《旧0哩標》

明治24年から大正3年までは、ここに門司駅がありました。

【住所：北九州市門司区清滝2-3-29】【最寄駅：門司港駅】

TEL：093-322-1006 / FAX：093-332-7233

ホームページ <http://www.k-rhm.jp>

団体名	鹿児島県 屋久町	〒891-4404 鹿児島県熊毛郡屋久町尾之間157 屋久町役場企画調整課 TEL 0997-47-2111 FAX 0997-47-2117
-----	----------	--

【 屋久島林用鉄道 】・・・動く環境教育・・・

屋久島（安房）森林軌道は、歴史的に屋久島森林開発の軌跡であり、唯一国内に現存する林用鉄道です。

1923年（大正12年）の開設以来、屋久杉搬出の花形として、また、小杉谷・石塚集落に暮らす人々の生活の足としても活躍してきました。

現在は、利用頻度は減少したとはいえ、屋久島の産業史を知るうえからも文化的価値の高い地域資源です。

また、海岸部から標高1,000mまでに至るこの森林軌道は、標高差による植物の変化を理解するうえでも貴重なもので、特に荒川分岐点までの10km余りは、温帯の最も南にある屋久島の照葉樹林を知ることができます。

このように人と自然との関係や、屋久島の植生の特徴を理解するうえで、貴重な資源である軌道を後世まで動態保存して、このエリアを広義の『環境教育』の場としてとらえ『動く環境教室』の舞台として利活用できるよう、今後も事業を展開していくことにしていますが、人を乗せて運ぶためにクリアしなければならない問題も多々あり、なかなか先に進むことができない状況です。

